

競 技 注 意 事 項

- 1 この大会は、2018年日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により審判する。
ただし、スタートにおける不適切行為には§162-5を適用せず注意にとどめる。
- 2 練習については、補助競技場が付設されていないので、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。ただし、投てき練習は一切認めない。
- 3 招集について
 - (1) 招集場は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
 - (2) 種目別の招集開始および完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
 - (3) 招集の手順
 - ①招集開始時刻までに招集場で待機し、本人が点呼を受ける。その際に、ナンバーカードとスパイクのチェックを受けること。
 - ②点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に2種目以上出場する者は、必ず事前(第1種目の招集開始まで)に競技者係に申し出て許可を得ること。許可を得た場合に限り、代理人による最終コールを認める。
 - (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし処理する。
 - (5) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ競技者係に申し出ること。
- 4 レーン順と試技順は、プログラムの各自のナンバーの前に記載の番号順とする。
- 5 準決勝、決勝の組合せは、すべて番組編成員が公平に抽選し、招集場、および掲示板に掲示する。
- 6 リレーのオーダーは、招集場で競技者係から用紙を受取り、オーダー他必要事項を正しく記入し、招集完了1時間前までに競技者係に提出する。
- 7 競技運営の都合上、男子5000m競歩では、35分で競技を打ち切る。
- 8 スターティングブロックを含め、用具については競技場備え付けのものを使用する。
但し、ハンマー・やりは数が少ないので、各校より持ち寄るものとし、その用具については、競技開始時刻の1時間前に、本部横で検査を行う。
- 9 バーの上げ方は、次のとおりとする。

走高跳	男子	練習(1m20)	試技	1m25 ~ (以降 1m75 までは 5cm きざみ)
				1m78・1m81 ~ (以降 3cm きざみ)
	女子	練習(1m00)	試技	1m05 ~ (以降 1m45 までは 5cm きざみ)
				1m48・1m51 ~ (以降 3cm きざみ)
棒高跳	男子	練習(2m40~)	試技	2m60 ~ (以降 3m00 までは 20cm きざみ)
				3m10・3m20 ~ (以降 10cm きざみ)

1位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- 10 競技場で使用するスパイクピンの長さは9mm以下の全天候型ピンを使用すること。但し、やり投と走高跳は12mm以下の全天候型ピンとする。先端の尖ったニードルピン等は走路を傷めるため禁止する。